

環境だより



環境課 ☎66・1121

山林などに、ごみが不法投棄される事例が後を絶ちません。ごみの放置は、さらに次の不法投棄を招きます。

私有地に不法投棄されたごみの処理は、原則として、その所有者または管理者が行なうこととなります。山林など土地を所有されている方は、日頃から不法投棄されないように管理をお願いします。

(罰則の強化)

不法投棄の罪は非常に重く、個人の場合は5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金に処されます。

(情報提供のお願い)

○不法投棄しているところを見つけたら

不法投棄の現場を目撃した

不法投棄、許しません



▲市内の山林に捨てられた不法投棄ごみの山

り、廃棄物を積んだトラックが処分場のない谷間や山林、空地などに入り込んでいるのを見かけたときは、ナンバーなどの目撃情報を警察に通報してください。

蒲郡警察署生活保安課
☎68・0110 (代表)

○不法投棄された廃棄物を見つけたら

不法投棄されたごみの中に投棄者を特定できるものがあるときや、その量が多いため土地所有者の力では処理が難しいときは、市役所環境課にご相談ください。

消防最前線

Journal of Fire Department 119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

消防士は赤い糸ならぬ赤い(色は様々ですが)ロープと常に結ばれています。それは、消防活動にはロープを欠かすことができないからです。

消防士は、もやい結び、まき結び、本結びなど数えきれないほど何種類もの結び方を覚えなくてはなりません。ホースやはしごに結ぶのか、自分を確保するのに使うのか、要救助者に結ぶのか、それぞれの状況に応じて結び方を瞬時に判断し使い分ける必要があります。炎上する建物に進入する隊員同士をつなぐ役目もあるので、中途半端な結び方は命取りになります。

約4mの小綱という手軽に使えるものから30mの長さのものまで、各種のロープを消

消防士の命綱



防車に常備しています。ロープは長くなればそれだけ扱いも難しくなりますが、要救助者をつり上げたり降ろしたりする時のためには、長いものも欠かせません。消防士たちは通常のロープ結索訓練以外にも、夜の待機時間中にも一つの結び方が何秒でできるのかを競いあったり、どうすればより効果的に使えるかをみんな研究したりしています。

ロープ結索を自分の趣味にする人もいます。

消防士となり一本の小綱を手渡された瞬間から、消防士とロープとの切っても切れない関係が始まります。ロープは消防士の生命線であり命綱なのです。